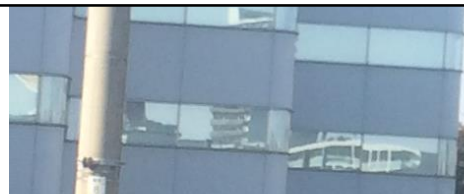


「人と人、人と社会をつなぐ情報の窓」 情報化時代の新世代電車

KATO
PRECISION RAILROAD MODELS

山手線 E235系 KATOから新登場!

山手線は1周34.5Kmを60分で周回する、東京中心部の輸送を支える環状線です。平日の日中でも5分と間隔を空けずに発着する11両編成の列車は、押し寄せる乗客の波を、どんどん取り込んで行きます。今、この山手線では15年ぶりの新形式車両E235系の投入が進められています。E235系には、E233系で実用化された技術や思想をベースに、更に多くの新技術を導入して利用客へのサービス向上を図ると同時に、エネルギーコスト、メンテナンスの低減が実現されています。車体もステンレス製車体製造の最新技術(sustina)が導入されました。特徴的な前面は「人と人、人と社会をつなぐ情報の窓」を表現した斬新なスタイルとなっています。東京オリンピックの開催に向けて、2020年春までに50編成の投入が予定されています。



4月発売



●KATOは歴代の山手線を製品化
KATOでは、山手線を走った車両(103系、205系、E231系)を歴代製品化。E235系もコレクションに加えてください。

●ステンレス車体はKATOの十八番
近年活躍しているステンレスカーの車体は、2トーンの質感が印象的です。KATOはE235系でも、この質感をリアルに再現いたします。

今、注目しておきたい KATO の Nゲージ製品シリーズ ③